

「構いません」と中国語

—— “没关系”、“没事儿”、“没什么” ——

保坂律子

Study on the Difference Between “没关系”(mei guanxi)、“没事儿”(meishir)、and “没什么”(meishenme)

Ritsuko HOSAKA

要旨

現代汉语中の“没关系”、“没事儿”与“没什么”都含有「構いません」的意思、因此初学汉语人常认为“没关系”、“没事儿”与“没什么”的意思一样、其实这三个词的用法并不完全相同。本论文的目的是指出这三个词在语用上的不同、以帮助初学者正确理解与应用这三个词。

0. はじめに

“没关系”、“没事儿”、“没什么”は中国語で“对不起”(ごめんなさい、すみません)、“不好意思”(申し訳ありません)と謝られた時、いずれも「構いません」、「大丈夫です」、「何でもありません」という意味で同じように使用される。

(1) a: 对不起! (ごめんなさい、すみません。)

b: 没关系 / 没什么 / 没事儿。(構いません)

(2) a: 我让大家失望了, 真对不起。(皆さんをがっかりさせてしまって、本当に申し訳ありません。)

b: 没关系 / 没什么 / 没事儿。(いいえ構いません)

(3) a: 由于我的失误, 给您造成了这么大的麻烦, 非常对不起。(私のミスで、大変ご面倒おかけしてしまって、本当に申し訳ありません。)

b: 没关系 / 没什么 / 没事儿 (いいえ何でもないです。)

(4) a: 真对不起, 我来晚了。(すみません、遅れてしまいました。)

b: 没关系 / 没什么 / 没事儿, 才八点呢。(大丈夫、まだ8時ですよ。)

また、謝られた時やお詫びに対する返答のほか、不安や心配に対しても「大丈夫、何でもない、気にすることは無い」と安心させたり、慰めたり、容認したりする意味でも使用される。

(5) 一次没考好 (没关系 / 没事儿 / 没什么), 以后努力就行了。(一回くらい試験がうまくいかなくても大丈夫、これから頑張ればそれでいい。)

(6) 碰破了点儿皮,(没关系 / 没事儿 / 没什么) (ぶつけてちょっと皮がむけただけだから、大丈夫です。)

(7) 今天的会你参加不参加都 (没关系 / 没事儿 / 没什么)。(今日の集まりには君は行っても行かなくても構わないよ)

“没关系”と“没事儿”、“没什么”の使い分けについては、「没事儿」、「没什么」は話し言葉

で使われる点を除けば、3語には違いを感じない」というネイティブ¹⁾が多く、互換性の高い語と言ってよい。「違いがあるとすれば、たぶん言い癖のようなものだろう」とか、「それはきっと方言の影響だろう²⁾」と説明する中国人もいる。

日本語では「大丈夫、構いません」に訳出されても“没关系”と“没事儿”、“没什么”には中国人には日常意識されていない本質的な違いがあるはずだ。中国語学習者がよく目にするような冒頭のような用例で、本質的な違いを理解せずに日本語訳³⁾だけに頼って学習を進めると、中国語の誤用を引き起こしてしまう。お詫びを言ったり、お礼を述べたりといったコミュニケーションの基本になる場面で用いられることが多い語だけに、好意を受け入れ感謝の気持ちを表したり、あるいは謝ったりといった感謝と謝罪の気持ちを正しく相手に伝達するためにも、差異は正しく理解する必要がある。本論では、これら3語の特徴を語構成や使用場面から考察し、中国語コミュニケーション教育の資とすることを目指すものである。

1. 問題の存在と辞書の記述

本来、日本語で「ごめんなさい」、「すみません」と言われたら、日常会話ならば「いいえ」や「いえいえ」などと答えるか、あるいは更にくだけて「ごめんね」、「悪かったね」に「ううん」「いいよ」などと返すのが自然だろう。しかし外国語として中国語を学習する際には、“对不起”の返答としての“没关系”や“没事儿”、“没什么”にたとえば自然な日本語訳として「いいえ」と訳をつけるなら、“没关系”、“没事儿”、“没什么” = 「いいえ」と機械的に覚えてしまう学習者は少なくないであろう。かつ一度「いいえ」と覚えてしまうと、今度は日本語の「いいえ」を表す中国語として、“没关系”、“没事儿”、“没

什么”を使うことも充分考えられる。これら3つの言葉は決して「～ではない」という意味の否定表現ではないにもかかわらず、である。さらに極端な例を挙げるなら、中国語の否定表現“不是”（いいえ）も“没关系”、“没事儿”、“没什么”も同じ「いいえ」を表す同義語だからと思い込み、互換可能と間違えて理解し“对不起”の返答に使う学習者もいる。そのためか一般に前後に文脈がない(1)のような簡単な挨拶では、“没关系”、“没事儿”、“没什么”はいずれも「構いません」や「大丈夫です」のような訳を与え「いいえ」は避けられている。しかし、「すみません」と詫びられた時、日本語で「大丈夫です」や「構いません」と答えることがどれほどあるだろう。中国語初級学習者が前後の文脈のない「ごめんなさい」「大丈夫です」との会話で、具体的場面を想起するのは難しいだろう。

中国語辞典として最も規範的である中国の《現代汉语词典》での記述は次のようにいって簡潔である。³⁾

“没关系”：

不要紧；不要顾虑。(たいしたことはない、心配ない)

“没事儿”：

1) 没有事故或意外。(事故や大事がない)
用例として次のようなものが載せられている。
经过医生抢救,他没事儿,大家可以放心。(医師の応急手当の結果、彼は大事ないので皆さん安心して大丈夫です。)

2) 没有干系或责任。(騒ぎや責任問題に関係がない)

ここには次の用例が載せられている。

你只要把问题说清楚就没事儿了。(君は問題をはっきり話せばそれで問題ない。)

“没什么”：

没关系。(関係が無い)

ここでは“没什么”は“没关系”とのみ記さ

れ次の用例を載せている。

没什么，请进来吧！（構いません、どうぞお入りください！）

これらの記述のみからでは3語間の差異を理解するには不十分で、日本人学習者が用法を理解することは難しい。本論では以下、各語の語義や語構成、使用場面などを検証しつつ相違点を考察していく。

2. “没关系”「関係ない、だから大丈夫」

本論で取り上げる3つの語のうち“没关系”は他の2つ“没事儿”“没什么”と明らかに異なる用法を持つ。そこでまず、“没关系”について考察する。

第一義的な“没关系”の意味は、本来(8)(9)(10)のように“没有关系”「関係がない」である。

(8) a: 没想到你也参与进去了。(あなたも入り込もうとしていたとは思いませんでした。)

b: 您别误会,我跟这事儿可没关系。(誤解しないで下さい、私はこの件とは全く関係ありません。)

(9) 这件事跟你没关系,你不用管。(この件はあなたとは関係ないので、放っておいて下さい。)

(10) 小王那天不在,这是跟他没关系。(小王はあの日不在だったので、これは彼とは関係ありません。)

“没关系”が「関係ない」を意味する用法において、(8)のように相手は必須ではなく使用場面は対話に限らない。また「関係ない」という意味から(9)(10)のように「余計なお世話だ、構ってくれるな」という相手を突き放すニュアンスを帯びることもある。このように“没关系”は自分が相手や事態とは「関係がない」と切り離し、距離を置く表現であることが特徴である。

この「関係がない」という意味を持つ“没关系”を“对不起”、“不好意思”と相手が詫び、謝る場面で使用する場合はどのような意味を表すだろうか。もう一度冒頭に挙げた用例で見よう。

(2) a: 我让大家失望了,真对不起。(皆さんをがっかりさせてしまって、本当に申し訳ありません。)

b: 没关系。(いいえ構いません)

(3) a: 由于我的失误,给您造成了这么大的麻烦,非常对不起。(私のミスで、大変ご面倒おかけしてしまって、本当に申し訳ありません。)

b: 没关系。(いいえ何でもありません。)

(4) a: 真对不起,我来晚了。(すみません、遅れてしまいました。)

b: 没关系,才八点呢。(大丈夫、まだ8時ですよ。)

本来“没关系”は“没有关系”(関係がない)である。(2)'ではaが「皆さんをがっかりさせてしまった」と詫び、bは詫びられるような事態とは“没关系”「関係ない」と返答しているが、ここでは「いいえ構いません」の訳をつけている。(3)'もaが「私のミスで大変面倒をかけた」と言うのに対し、bは“没关系”「関係ない」と事態が相手と関係がないと応え、(4)'では遅れたことを詫びるaに対し、その事態は「まだ8時だから関係ない」と返している。いずれの場合もaが詫びる事態に対して、bは「あなたが謝っている事態は関係がない」という表現をとることで「無関係だから気にすることはない」と返答している。そこで「構わない、大丈夫」という意味が付与されてくるのである。

「関係ないから大丈夫」と切り離し、距離を置くことで相手の謝罪を受けとめる。あなたと関係がなければ「そんな事態は気にする必要はない」と説得でき、安心させることが可能だから

である。さらに関係がなければ当然“不是你的错儿”（あなたのミスではない）から、やはりあなたは悪くないので「気にすることはない」、「構わない、大丈夫」になるのである。これを図式化すると次のようになろう。

没有关系（関係ない）→跟你没关系（あなたとは無関係だ）→不是你的错儿（あなたのミスではない）→（大丈夫、構わない）

このように解釈すると冒頭の（1）（2）（3）で“没什么”、“没事儿”、“没关系”が同じように「構いません」と訳出されていても“没关系”での返答なら、そこには背景に「構わない」理由として「あなた或いは私とは関係無い事態である」と「切り離す」働きが存在し、そのため「何も悪くない、謝罪不要」があることが分かる。“没什么”、“没事儿”はこの“没关系”が持つ「関係が無い」という意味を持たない。

“没关系”は「関係ない」と事態を切り離し、距離を置くことで相手の不安や心配を解消することができる一方、具体的に何かの対応を期待する相手には「関係ない」と突き放すニュアンスが生じることがある。

(11) 感冒是小病，不吃药也没关系。（風邪はなんてこと無い病気だ、薬を飲まなくたって大丈夫だ）

上の（11）の発言が自分の病状に関するものなら、「風邪など取るに足らぬ、私の体調を気遣うには及ばない」というニュアンスになろうが、これが相手の病状に関する発言であれば、「風邪くらいで騒ぐなんて大げさだ」というニュアンスを帯び、相手に与える印象は「思いやりのない、優しさを欠く人間」となることは免れない。次の（12）では労わりの言葉を期待していたであろう b は a から突き放された気がするはずだ。

(12) a: 我有点儿感冒。（ちょっと風邪気味なんだ）

b: 没关系，吃点儿药就好了。（そんなの平気さ、薬を飲めばすぐ良くなるよ。）

さらに発車間際の駅のホームでの次の場面では、a の発言は祖母が来るまで少し発車を待ってくれと期待しているのに、b は規程を曲げずに突き放した言動を取っていることが後続の句からもはっきり読み取れる。

(13) a: 等一下，别关门！我奶奶还没上来呢。

（ちょっと待って、ドアを閉めないで！おばあちゃんがまだ来ないんです）

b: 没关系，你在下一站等着她吧！（大丈夫、次の駅で待っていて下さい。）

(13) の a は無理難題を言うのではなく、ほんの僅かドアを閉めるのを待ってくれることを期待していたのだろうが、b はそれを“没关系”と言う言葉を使用することで、乗り遅れても「関係ない、次の駅で待っていればよい」と突き放している。

3. “没事儿”「大事がないから大丈夫」

事態を相手や自分と「関係が無い」と切り離し、距離を置いて扱うことが特徴的である“没关系”に対し、“没事儿”、“没什么”は、事態が相手と何らかの接点を持っていることが前提にある点で違いがある。

“事儿”は「用事、事」、「異変、変事、事故」という意味を持つ名詞である。“出事儿”と言えば「事故が起こる」という意味であり、“没事儿”と言えば「用事がない」のほか、「事故や大事がない、変事がない」という意味になる。

次の（14）（15）はいずれも純粋に「相手が大事に到っていないか」を問うものであり、ここでは“没关系”で言い換えることはできない。

(14) (看见一个人摔倒了，跑过去对他说) “(没

事儿/*没关系)吗?”(転んだ人を見かけて駆け寄り、「大丈夫ですか?」)

(14)では知らない人が転んだのを偶然見かけて思わず口をついて出た言葉である。ここでは転んだ人を偶然見かけて声をかけただけで、起こった事態と話し手は無関係であることは明らかで“没关系”は使えない。

車を運転中に追突事故に遭ったことを話題にする(18)のような場面の会話も同様に“没关系”は使えない。

(15) a: 昨天我被后面的车撞了一下。(昨日うしろの車に追突されちゃった)

b: 是吗?(没事儿/*没关系)吗?(そうなの?大丈夫?)

(18)でもbは話を聞かされただけで事態の当事者ではなく、したがって「関係がない、関わりが無い」を意味する“没关系”は使えないのである。

しかし、もし自転車に乗っている人が追い越しざまに歩行者にぶつかった時なら、(16)のように“没事儿”だけでなく“没关系”も使える。

(16) (没事儿/没关系)吗?(大丈夫ですか?)

この(16)は一見(14)(15)と同じように見えて違う。(14)(15)の話者は、純粹に相手に「大事に到っていないかどうか」しか問うことはできない。なぜなら話者は事態の当事者ではないので、そのため相手に影響を及ぼすことなど有り得ない。したがって「大丈夫ですか?」と尋ねるには「関係がない」を表す“没关系”は言えず、“没事儿”しか使えない。これに対し(16)で“没关系吗?”が使用可能なのは、相手にぶつかった自分は事態の当事者であるから、ぶつかったことが相手に影響を及ぼしたかどうか、関係の有無を問う意味の“没关系吗?”「大丈夫ですか?」が成立するためである。一方“没事儿吗?”を使用して尋ねる場合、自分がぶつかったことで「相手が怪我をしていないか、大

事に到っていないか」を問う「大丈夫ですか?」の意味である。同じ「大丈夫ですか?」の訳がついても両者は同義ではない。

上記例からも理解できるように、「事故や大事がない、変事がない」という“没事儿”は、「大事に到っていない、影響がない、大丈夫である」と事態を控えめに扱う働きを持つのである。

この「大事に到っていない」ことを表す“没事儿”が対話で使用されると、「大丈夫ですよ、何ともないですよ」と相手が抱える不安や心配を取り除き、相手の心的負担を軽減する働きをする。それは不安や心配を抱えている「相手の気持ちを受け止め、相手を思いやる」ことである。

常玉1993では“没事儿”の意味を次のように具体的に3つに分けて説明している。

第1に“表示身体没有伤病, 或虽然伤病但无大碍”「(病気や怪我がない、或いは病気や怪我があったとしても、それは大きな障害とならない)」と言うものである。たとえば次のような例文が挙げられている。

(17) 好的, 妈妈忙完了这个试验, 就带你去医院检查, 医生要是说没事儿了, 我就送你幼儿园去。(分かった、お母さんがこの実験を急いでやったらすぐあなたを病院に連れて行って検査してもらって、お医者さんが大丈夫だって言ったら幼稚園に送って行くわね。)

この(17)では具合の悪い子供がいて母親は急ぎの実験が終わったら医者に連れて行く。子供に悪いところはあるのだが、“没事儿”という医者診断があれば「大丈夫」、その子供の具合は幼稚園に行くことの妨げにならないのである。そうであれば幼稚園に連れて行くと子供に約束しているのである。日本では考えられないが、中国らしい例文かもしれない。

第2は、“表示没有令人烦恼的麻烦事, 如纠纷,

障碍, 祸患, 骚扰”「(人を煩わせるような、揉め事、騒ぎ、災難のような厄介がない)」ことを表す。次の(18)では、まさに騒ぎが起こっている最中である。犬が人を咬んでみんなが大騒ぎになるが、お爺さんが“没事儿”と言ってみんなの気を落ち着かせる場面である。

(18) “哎呀, 大狗咬人了!” 梁准喊。大家都惊慌起来。“没事儿!” 爷爷安慰大家; “虎子是生子的好伙伴, 生子有病, 它也难受着呢。”((あっ、大きな犬が人を咬んだ! 梁准が叫んだ。みんなは驚き慌てた。「大丈夫だ!」お爺さんはみんなを安心させるように言った。「‘トラ’ はあの子と仲よしなんだ、あの子が病気になったので、やつだって辛い思いをしているんだ。)

第3は“表示请别人不要客气, 用在别人向自己表示感谢或歉意时。”「人が遠慮をしないように、人から感謝や遺憾の意を示された時に用いる」ものである。次の(19)では泊めてあげようとする相手が恐縮している場面で「そんな遠慮、気遣いは要らないよ」と“没事儿”を使うことで相手が恐縮せずに好意を受け入れられるようにしている。

(19) “那太麻烦你们了”, “没事儿, 咱俩可以合睡这张床。”(「それじゃあ、あなた方に迷惑をかけてしまう」, 「平気さ、私ら二人はこのベッドで一緒に寝ても構わないから」)

上記第1の解釈によって先の(12)を考察すると、aの「風邪気味だ」に対してbの“没关系”の返答では「薬を飲めば良くなる」と言い、「薬を飲めばいいだろう、風邪だからなんだって言うんだ」と突き放した感じを与えるのに対し、ここで“没事儿”で答えればそこには相手の不安を受け止めた上で「病は気からというから大丈夫、大したことはないよ、心配要らないよ」という思いやりを込め、相手の不安な気持ちを楽

にする思いが感じ取れる。

(12) 'a: 我有点儿感冒。(ちょっと風邪気味なんだ)

b: 没事儿, 吃点儿药就好了。(大丈夫、薬を飲めばすぐ良くなるよ。)

“没事儿”のポイントは不安や心配など相手の気持ちを受け止め、「相手を思いやる」ことにあると述べたが、(12)では風邪を引いて心細い気持ちの相手に“没事儿”「大丈夫だよ」と言うことで安心させるように働いているが、次の(20)(21)のように、気遣ってくれる相手に対して心配をかけないようにと思いやっての使用も多い。

(20) a: 你怎么了?(どうしたの?)

b: 没事儿, 就是有点儿头疼。(何でもないの、ちょっと頭が痛いだけだから)

(21) 我没事儿, 病全好了。你别担心。(私は大丈夫、病気はすっかり良くなったから、心配しないで下さい。)

(22) 她没事儿, 一点也没伤着。(彼女は大丈夫ですよ、少しも怪我はありません。)

以上から、お詫びの場面以外で使用される“没事儿”は「大事がない」という本来の意味から、「大事に到っていない」、「たいしたことはない」と相手の気持ちを受け止め、相手の心配や気遣いを軽減するように働き、その結果相手を思いやる「大丈夫」「構いません」という日本語に結びついているとすることができる。“没事儿”のポイントは相手の気持ちを受け止め思いやり、安心感を与えることにある。

「大したことはない」と相手を思いやる“没事儿”であるが、この“没事儿”が“对不起”(ごめんなさい、すみません)、“不好意思”(申し訳ありません)などお詫びや謝罪の場面で返答として使用される時、“没关系”が使われる場合とは異なり事態は相手と何らかの関わりがあると了解していることが前提にある。そこに

は「确实是你的错儿」（確かにあなたの間違いである）ことが含意されている。しかし事態は“没事儿”（妨げにならない、たいしたことはない）ため、“不过问题不大”（問題は大きくない）、したがって「大丈夫、構わない」という訳が生まれるのである。これを図式化すると次のようになる。

确实是你的错儿（確かにあなたに間違いがある）→不过问题不大（でも問題は大きくない）→小事儿（取るに足らないことである）→没事儿（大事にいたらない、たいしたことはない、大丈夫）

今一度次の(23)、(24)で“没关系”と“没事儿”の違いを見ておく。

(23) a: 对不起, 我忘了把你的书带来了。(すみません、あなたの本を持って来るのを忘れてしまいました)

b: 没关系/没事儿, 反正我也不急着看。(構いません、私もすぐに読むわけじゃないですから。)

(23)ではbから借りた本を忘れてきたaに対し、貸した側のbは返答として「構わない」という意味で“没关系”、“没事儿”とも使うことができる。「自分も今すぐ読むわけではない」から、「aが持ってくるのを忘れても全く構わない」と考えているなら“没关系”、「今すぐ読むわけではないので、忘れてきたことは気にしなくてよい」が「返してくれないのは困る」という気持ちが働けば“没事儿”も使える。つまり「今すぐ読むわけではない」という後続句からは、「aが貸した本を忘れてきた」事態がbにとって「全く関係ない“没关系”」であるとも「少しは気になるがさほど困らない“没事儿”」とも両方の読みが可能なのである。しかし、(24) b 2のように、「割れてしまったら、割れ

たでいい」のように相手責める気持ちが皆無で、相手に非がないと考える場合、“没事儿”は使いにくい。なぜなら(24) b2には“没事儿”使用の前提となる“确实是你的错儿”（確かにあなたのミスである）が存在しないからである。

(24) a: 对不起, 我把你的杯子摔破了。(ごめんなさい、あなたのカップを割ってしまいました)

b1: (没关系/没事儿)。(構いません。)

b2: 没关系(? 没事儿), 破了就破了吧。(構いません、割れたなら割れたでいいから)

「構わない、何でもない、大したことはない」を表す“没什么”、“没事儿”は、お詫びや謝罪を表す“对不起”に対する返答のほか、お礼や感謝の気持ちを表す“谢谢”（ありがとう）の返答にも使われる。相手からの感謝に対しても「気にかけることはありません」、「何でもありません」と返答することは、お詫びや謝罪に対する返答と同様に「相手の心的負担を軽くする」ことに繋がる。そこには“确实我做了一点儿事, 不过很小”（私は確かにちょっとしてあげましたが、ほんの小さなこと）として、自分が相手にとった行為（好意）を認めた上で、「たいしたことではないですよ」、「何でもないですよ」と返し、相手の気楽にするのである。感謝を述べる相手に対しては「あなたと関係ない」を意味する“没关系”が使えないのは当然である。しかし、“谢谢”と言われて直接“没关系”と返答するのは不自然だが、(25)のように感謝と共にお詫びの言葉が添えられれば、使用可能となる。ただしこの“没关系”は“又给你添麻烦了”（またあなたに迷惑をかけてしまったわ）というお詫びに対して言うものと理解すべきであり、やはり“谢谢”に対する直接の返答ではない。お礼のあとにお詫びのワンクッションが置かれて可能になっている。

- (25) a1: 谢谢! (ありがとう)
 b1: * 没关系 / 没事儿。(いいえ)
 a2: 谢谢! 又给你添麻烦了。(ありがと
 う! またあなたに迷惑をかけてし
 まったわ)
 b2: 没关系 / 没事儿。(いいえ)

4. “没什么”「なんでもない、取るに足らない」

ここまで“没关系”と“没事儿”“没什么”を分けて“没关系”対“没事儿”のように論を進めてきたが、ここでは“没事儿”と“没什么”の違いについて考察したい。冒頭に載せた《現代汉语词典》での記述では“没什么”は“没关系”と記されており、それに拠れば“没什么”は“没关系”と同義となってしまう。しかし“没关系”には“没事儿”、“没什么”と一線を画する用法があり、異なることは既に第1章で詳しく述べた。

また「はじめに」で“没事儿”、“没什么”は口語で使われることが多いというネイティブの指摘を記したが、中国語辞典として最も規範的な《現代汉语词典》には口語での使用という具体的な記述は無い。しかし外国人学習者を対象とした《通过 HSK - HSK 词汇精解》(HSK 通過—HSK 語彙精解)には“没事儿”について「表示没关系,但是比“没关系”更口语」(“没关系”の意味を表すが“没关系”に比べより口語的である)と明記されている。また《1700对近义词语用法对比》(1700組類義語用法对比)にも“没事儿”常用于对话(“没事儿”は通常対話に用いられる)と記されている。これらの記述からネイティブにとっては言わずもがな、と思われることであっても外国人に対しては特に口語で多用される点を指摘しておく必要があることが分かる。

両者の違いを、お詫びや謝罪に対する返答以外から探してみよう。ここでも前章同様に常玉

1993の記述が大いに参考になる。常1993では“没什么”の表す意味を次のように具体的に5つにまとめている。

第1は“对于对方的感谢歉意表示辞让,是实际中的客气话。”[(相手の感謝や遺憾の意を丁寧に断る、コミュニケーションにおける丁寧語)]というものである。

(26) “这几天,多亏你…”“没设么。”(「この数日、おかげさまで…」、「とんでもない」)

この用法は、相手の感謝やお詫びなどの言葉を「そのようなことはとんでもない」と辞退し相手に丁寧に断る、言うなれば社交上の形式的な挨拶と言える。“没事儿”が相手の気持ちを受け止めた上で「大したことはない」と控えめに扱うのに対し、“没设么”は相手の気持ちを「とんでもない」と相手にやんわり押し返すように働いている。

第2は“表示身体的病痛不严重,器物的毛病不大,宽慰对方使其放心。”[(身体的な病苦が深刻でないこと、器具の不具合が大きくないこと、相手をほっとさせ安心させることを表す)]というもので、何らかの不具合があることは認めた上で、それは何ということはないものであると相手の気持ちを楽にする働きをすると言える。

(27) 其实这点毛病没什么,妈妈身子骨好,不久就会好的。(「実はこの病気は何でもないもので、お母さんは身体が丈夫だから、すぐ好くなるはずよ。」)

第3は“表示认为某人没有使得特别重视的地方,不必对其过于看重或担心。”[(特に重視してもらうことはない、過度に重んじたり気かけたりしてもらう必要がないことを表す)。]もので、「丁寧に扱ってもらう必要はない、軽く扱ってもらっていいのだ」「取るに足らないものだ」と相手に押し戻すものである。

(28) 她有什么呀,一天到晚飘飘然,觉得她多

么了不起的，不就是个公关小姐吗！（彼女は何様だっていうの、一日中有頂天で鼻高々になって、プレス担当者でもないのに！）

特に(28)“有什么”のように肯定形にしてみると“什么”はもともと取り上げる必要もない、話題にするようなことではない「何か」であるに過ぎず、“事儿”が表す「大事」という大層なものとは違うことが分かりやすい。

第4は“表示事情不重大，困难不大，问题不复杂，挫折不严重，不难克服，解决或解脱，要对方不必特别看重或忧虑，有时有宽慰对方的意思。”「(事態が重大でなく、困難が大きくなり、問題が複雑でなく、失敗がひどくなり、克服や解決あるいは脱出が難しくなく)ことを表し、また人に特に重んじたり、心配したりすることのないようにさせ、時に相手を安堵させる意味を持つ」というものである。

(29) “大学没考上？”杨丽扭捏地点点头。老张同情地：“没什么，三百六十行，行行出状元。”（「大学に落ちたって？」楊麗はもじもじしながら頷いた。張さんは同情して「どうってことないや、どんな職業でもずば抜けたやつは出るもんだ」と言った。

ここでの“没什么”は大学卒でなくても、それぞれの道で優れた人材が出ているのだから、大学に不合格だったことは、将来に大きな影響はないはずだと言うのである。「大学に合格しなかったことが何だ、くよくよすることはない、大学に行かなくてもいろんな職業で優れた人間がいる、気にする必要はない」と言う意味で、大学に合格できなかった相手の心配をはね返すように働いている。

第5は“表示对自己的某种情绪、意图或行为等真实状况进行掩饰。”「(自分の本心や意図、行動などを「何でもないよ」と誤魔化したり隠したりする)」というものである。(30)のよ

うに何か後ろめたいことがある場合、それを指摘されて隠そうとする場合によく見られる用法である。

(30) 别装模做样了，你背地搞了什么鬼？ 没，没什么呀！（「もったいぶるなよ、何を悪だくみしているんだ？」「な、なんでもないよ！」

上記第2、第3、第4(27)(28)(29)からは、“没什么”が扱う事態は「取るに足らない」こと、事態が「大きくないこと」したがって気にとめる必要がないことに描写の重点があることが分かる。身体や事態に差支えがない場合“没事儿”は怪我や病気、問題は影響がないことに描写の重点があるのに対し、“没什么”は怪我や病気、問題が大きいことに描写の重点がある。

このように“没什么”は相手の不安や心配を「取るに足らぬ」から「問題にもならない」と押し返すことで、「大丈夫」「構わない」という日本語に結びついていくと考えてよい。

次の(30)で見よう。

(30) (商量好了一起去旅行) (一緒に旅行に行く)と約束していて)

a: 明天会不会下雨？（明日雨が降るんじゃないかしら？）

b: *没什么 / 没事儿 / 没关系，下雨我们就后天走。（構わないよ、雨が降ったら明後日行こう）

すでに一緒に旅行に行く約束がまとまっていたaとbの会話である。明日は雨になることを心配するaに対し、bは「構わないよ」と答え、「雨が降ったら、明後日出発にしよう」と持ちかけている。この場面での「大丈夫、構わないよ」には“没关系”、“没事儿”は使えても“没什么”は使えない。明日雨が降ったら「明後日出発する」のだから、話者にとって雨が降ることは「関係がない」ので“没关系”は成立する。また、明日雨が降ったら「明後日出発す

る」ので、旅行に行くこと自体に何ら影響しないので“没事儿”も成立する。つまり雨が降ることと二人が旅行に行くことは独立事象なのである。もし、雨が降っても明日行くのなら、雨は「取るに足らぬ」と判断した根拠になるので使用可能であるが、しかし(30)では明日行くつもりだった旅行を雨のために明後日に行くことにする、と言っているのだから、雨は「取るに足らない」「問題にならない」と言って押し返すことはできない、ゆゆしき問題になっている。したがって(30)では“没什么”が使えないのである。

また、先に(14)で見たように、「大事に到っていない」を表す場合は“没关系”、“没什么”は使えず“没事儿”しか使えない。転んだ人に大丈夫かどうかを尋ねようというのに「取るに足らない」「問題にならない」意を表す“没什么”を用いて“没什么吗?”「大丈夫ですか?」とは言えないからである。

(14) (看见一个人摔倒了,跑过去对他说)“(没事儿/*没关系/*没什么)吗?”(転んだ人を見かけて駆け寄り、「大丈夫ですか?」)

さらに、(23)では“没关系”“没事儿”は使えるが“没什么”だけが使えない。

(23) a: 对不起,我忘了把你的书带来了。(すみません、あなたの本を持って来るのを忘れてしまいました)

b: (*没什么/没关系/没事儿),反正我也不急着看。(構いません、私もすぐに読むわけじゃないですから。)

ここでは自分が貸した本を相手が忘れてきたのである。本を貸した相手が話し手に対して、気をかけてくれたわけではない。そもそも“没什么”は「取るに足らない」、「気にかけてもらうには及ばない」点に表現の重点があるのだから、貸した本を忘れてきた相手の行為「気にか

けてもらうには及ばない」と言うことは不自然であろう。“没事儿”、“没关系”にはこの「人から重視してもらう、あるいは気をかけてもらうには及ばない」という意味はない。

5. まとめ

本論は、中国語コミュニケーションの資とすることを目的に、お詫びへの返答「構いません」として同義として使用される“没关系”、“没事儿”、の3語の差異を明らかにしたものである。第1章では“没关系”について考察した。第2章では“没事儿”について考察した。第3章では“没什么”について考察した。この結果、“没关系”は「関係がない」と事態と切り離し、距離を置くことで「あなたとは関係がないから大丈夫、構わない」という意味が導かれることを示した。“没事儿”は事態の存在を認めた上で相手の気持ちを受けとめ、「大事にいたっていない、だから大丈夫、構わない」という意味が導かれることを示した。“没什么”は事態の存在を認めた上で「取るに足らない、問題にならないから大丈夫、構わない」という意味が導かれることを示した。

“对不起”、“不好意思”(ごめんなさい、申し訳ありません)と謝られた場面の返答“没关系”“没事儿”、“没什么”(大丈夫です、構いません)は“谢谢”をはじめとするお礼の言葉の返答としても使用される。そのため学習者が日本語訳にだけ頼って使用すると、コミュニケーションの場で誤解を招くことになる。言葉の誤用から自分の意図に反し中国人と気まずくなることなどないよう、また語学学習がよりよいコミュニケーションの架け橋となるよう、3つの語の差異を十分理解した上で「いいえ」「構いません」「大丈夫です」を使い分けるようにすべきである。

考えてみると、日本語では「ごめんなさい」、「すみません」の返答として「いいえ」の使用

が多いが、「どうもありがとう」、「ありがとう
ございました」と言われてもやはり「いいえ」
と答えることが多いのではないか。丁寧に答える
ならお詫びには「いいえ、お気になさらずに」、
お礼に対しては「いいえ、とんでもない事です」
「いいえ、どういたしまして」となり、どちら
に対する返答かが少し明確になるが、日本語で
も「いいえ」の文字だけではお礼に対する返答
か、お詫びに対する返答かは書かれた判断する
ことは難しい。

本論を書き進めてお礼とお詫びという逆の位
置にある言葉に対し、「いいえ」で返答できる
のは、「相手の心的負担を軽くする」という共
通点があることに改めて思い到った。感謝と謝
罪は「相手の心的負担を軽くする」と言う点で
は日中共通である。中国人も日本語の「いいえ」
の使い方で頭を悩ませているかもしれない。今
後、機会があれば調査研究をしてみたい。

【注】

- 1) 大学卒の学歴を有する中国人多数
- 2) “没有事儿”については北京語で多用され
ると言う指摘が《口语用语功能辞典》にあ
る。
- 3) 以下訳はすべて筆者による。

【参考文献】

- 《口语用语功能辞典》1993年 常玉主编 北京语
言学院出版社
- 《现代汉语词典》2005年 中国社会科学院语言研
究所词典编辑室编 商务印书馆
- 《1700对近义词用法对比》2005年 苗强 陈丹丹
责任编辑 北京语言文化大学出版社
- 《HSK 词语用法详解》2000年 黄南松 孙德金主
编 北京语言文化大学出版社
- 《HSK 汉语水平考试词典》2000年 邵敬敏主编
华东师范大学出版社

- 《汉语8000词词典》2000年 北京语言文化大学汉
语水平考试中心编 北京语言文化大学出版社
- 《通过 HSK-HSK 词汇精解》1997年 HSK 对策研究
组著 华夏出版社
- 『どうちがう？中国語類義語のニュアンス』相
原茂他編 2000年 東方出版社
- 「“没关系”，“没事儿”」2009年 保坂律子「ど
うちがう似たものことば第48回」[http://
chugokugo.com](http://chugokugo.com)